



®

あおぞら

見能林小学校 人権通信 2022年1月11日



★人権集会 テーマ『自分』

12月22日人権集会を行いました。今回のテーマは、「自分」です。まず、阿南市人権作文小学校高学年の部で最優秀に選ばれた5年生松島楓花さんの「誇れる自分へ一歩ずつ」を聞きました。そのあと、わくわく委員会が、ヘルガ=ガルラーさんの「まっくろネリノ」という絵本を朗読しました。そして、自分のよさを各班で発表する時間を設け、一人一人が改めて自分について考えました。最後は、全校生が体育館に集まり、「ビリーブ」を手話コーラスしました。

集会後の感想では、それぞれが感じたことを、しっかりと書いていました。見能林小学校の子どもたちは、素敵な個性をもっています。これからも、自分の個性を生かし、他の人の個性も大切に、互いに認め合える人に成長して欲しいです。

★「まっくろネリノ」(ヘルガ=ガルラー作)の朗読

生まれつき体の色がまっくろのネリノ。自分の体の色をいやだなどおもっていたネリノ。でも、それが・・・。



★人権作文発表「誇れる自分へ一歩ずつ」5年 松島 楓花さん

自分の中にある差別心に気づき、自分を見つめなおし、これからどう生きていきたいか考えた作文です。聞いた人に、自分のことを見つめるきっかけを与えてくれる内容です。



★各班での活動

教室に分かれ、6年生が中心となり話し合いを進めました。低学年に優しく教えている高学年の姿が見られたり、

どの学年も自分の意見を発言したりすてきな話合いができていました。自分のよさを書いたカードは、班ごとに貼り図工室前に掲示しています。ぜひ参観日にご覧ください。



★手話コーラス「ビリーブ」

手話コーラス「ビリーブ」は、みんなの心を一つにしました。1か月以上前から、ミュージック委員会のみなさんが作成した動画を見ながら練習しました。



★子どもたちの感想

☆みんなでしゅわをしたら、こころが一つになったとおもった。(1年生・3年生)

☆じぶんができることをいかして、ともだちをつくっていきたい。(1年生)

☆この人けんしゅう会で、じぶんにしかないよいところがあると気づいた。(2年生)

☆みんなのよさを聞くと、心がすごくぽかぽかした。(3年生)

☆自分のこせいをみんなのために使って、友達を笑顔にしたい。(3年生)

☆短所もその人のもちあじなんだから、だめだなんてことはない。(4年生)

☆班のみんなのよさをたくさん見つけられた。それぞれのよさを大切にしていきたい。(4年生・5年生)

☆松島さんの人権作文「人のよさを認めて誇れる自分になっていく」という考えがすばらしい。(5年生)

☆ビリーブを歌ったとき、全学年の温かい気持ちに包み込まれ、寒い体育館でも暖かく感じた。(5年生)

☆ネリノは自分の個性を生かして兄を助けた。ぼくも人を助けられるようになりたい。(5年生)

☆人権作文や「まっくろネリノ」の話聞いて、自分も知らないうちに差別をしているかもしれない。これからは人の気持ちを考えて行動したいと思った。(5年生・6年生)

☆今回の人権集会を通して、「自分」をしっかり理解できたのがよかった。(6年生)

☆人権集会や松島さんの作文から、一人一人の個性を大切に、みんなとの違いを自分のいいところに変えていきたいと思った。(6年生)

☆ぼくの班では、同じことを発表した人は誰もいなかった。それを聞いてこれが個性なんだと思った。個性というものにあらためて気づかされた。(6年生)

